

高梁高校、城南高校2校とも存続できるのか！



平松 久幸 議員



県立高校再編基準の柔軟な対応を要望すべき

平松 市内県立高校再編の基準を問う。

教育長 令和5年度以降、1年生が100名を2年連続で下回ると再編対象、80名を下回ると翌年度から募集停止となる。

平松 いつからどうなってしまうか。

教育長 280名程度の募集定員に対して市内の生徒が170名程度で、厳しい状況である。

平松 高梁城南高校は対応が待たないではないのか。

教育長 高梁高校は定員が160名で、100名を切るまでにはまだある。高梁城南高校は定員が115名で厳しい状況である。

平松 今後、市として市内県立高校の存続と魅力化にどう取り組む

のか。

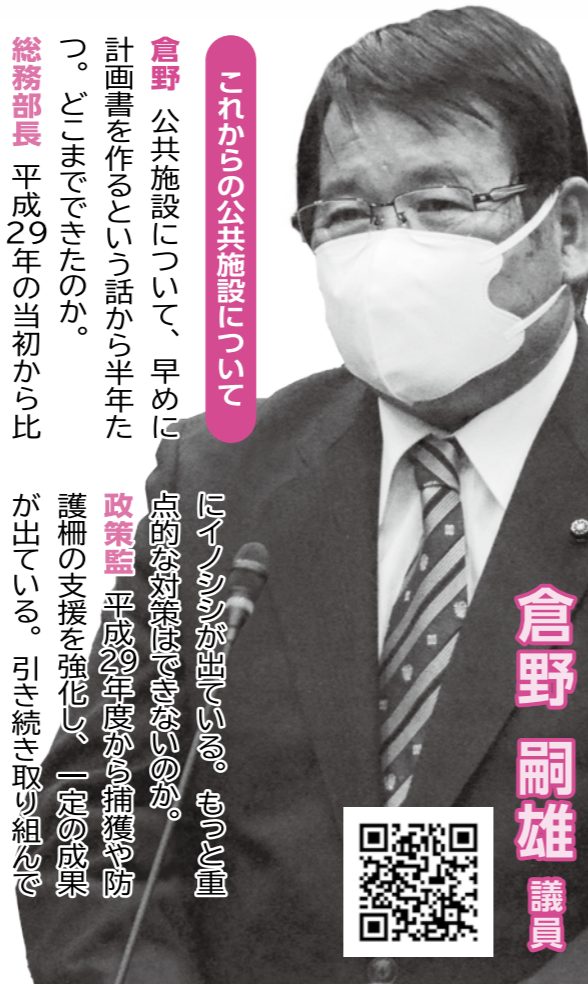
教育長 これまでも通学費援助のほか、県立高校の在り方を考える協議会を通して説明会の充実や全国募集の支援などを行ってきた。

令和4年度は学校連携コーディネートーターを配置し、地域や中学校と高校を結びながら高校の魅力を発信している。引き続き取り組みたい。

平松 再編基準の柔軟な対応が必要である。市として県教育委員会に要望しないのか。

教育長 県とはこれまでも協議してきた。プロジェクトチームを設置し、市全体で計画を立てた上で、2校の存続、学科の存続、教員配置や人材確保等、引き続き要望していきたい。

家の近くまでミッドが出る。本気の対策を！



倉野 嗣雄 議員



これからの公共施設について

倉野 公共施設について、早めに計画書を作るという話から半年たつ。どこまでできたのか。

総務部長 平成29年の当初から比較すると、8施設、延床面積で4134平方メートルを削減した。

倉野 類似団体と比べるとかなり多いと思う。年ごとの数値目標と達成率を議会に示すべきでは。

総務部長 現在利用状況や老朽化を客観的に数値化している。2月の全員協議会で意見を伺う。

倉野 近い人は言いにくいこともある。総務部長のような国から来た人が大ナタを振るってほしい。

有害鳥獣対策について

倉野 切実な問題で、毎晩のよう

にインシツが出ている。もっと重点的な対策はできないのか。

政策監 平成29年度から捕獲や防護柵の支援を強化し、一定の成果が出ている。引き続き取り組んでいきたい。

定住対策について

倉野 人口が急激に落ち込んでいる。定住対策に力を入れるという

が、本気でやる気があるのか。

市民生活部長 人口減少対策は最重要課題であると考えている。1つの課で成し得るものではないので、全庁を挙げて取り組んでいる。

倉野 不動産業者や地域と市が連携した組織作りが必要では。
市長 宅建業の資格を持った方々との会合で、そういった組織をつくるべく意見交換している。

地域の現状をよく分析し、寄り添った支援を



伊藤 泰樹 議員



経済活動について

伊藤 毎日の買い物にお困りの方にご寄り添うのか。

産業経済部長 買物支援だけでなく、高齢者等の移動に関する地域課題の解決には、福祉関係や公共交通の視点からの支援策を構築していく必要があると考えている。

伊藤 物価高騰への対策を問う。

市長 今後、賃金上昇も見込まれる。物価高騰が落ち着いた後には、移動販売を含め、市民の皆様が生活していただくため、利便性が損なわれないように取り組んでいく必要があると考えている。

病気療養者支援について

伊藤 リフィル処方箋を普及させることに意義があると考えているが。

健康福祉部長 市として市民にこの制度を推奨するものではない

が、市民に制度の周知を図ることは必要と考えている。

伊藤 通院支援が必要なのは分かるが。

健康福祉部長 通院のみに特化した支援制度は難しいが、全体の交通施策の中で検討を進めたい。

住宅建築支援について

伊藤 若い世代のマイホーム取得の支援制度の一層の拡充を。

市民生活部長 本市の支援制度は県下でもトップクラスである。

伊藤 支援を上回る物価高騰の中で、今何を求められ、何が適切なのか一層の検討を要望する。

伊藤 建て替えを前提とした場合、老朽危険建物除却促進事業補助金を拡充できないか。

市民生活部長 現行制度の見直しも含めて研究したい。

西分駐所の早急な機能の正常化を求める



新倉 淳 議員



消防署のコロナ禍での機能低下について

新倉 西分駐所が機能していない日が多くあると聞く。その理由は何かなるものか。

市長 コロナの関連でどうしても本庁職員が不足して、令和4年11月末で104回閉鎖している。その中でやむなく24時間閉鎖を延べ23日している。ご不便ご心配をおかけしていることは重々承知している。ドクターカーの要請等で、最善を尽くしたい。

新倉 西分駐所が機能せず、助かるはずの命が助からないようなことが決してあってはならない。待たなしのスタッフの増員が必要不可欠であると思うがどう考えているのか。

市長 現在3名を再任用で採用しているのですが、その方は本部に勤めさせ、そこにいる消防署員を現場対応へという工夫して対応できるように日々努力している。議員の懸念が1日も早く解消されるように最善の努力をしていく。



▲消防署西分駐署（備中町地内）